

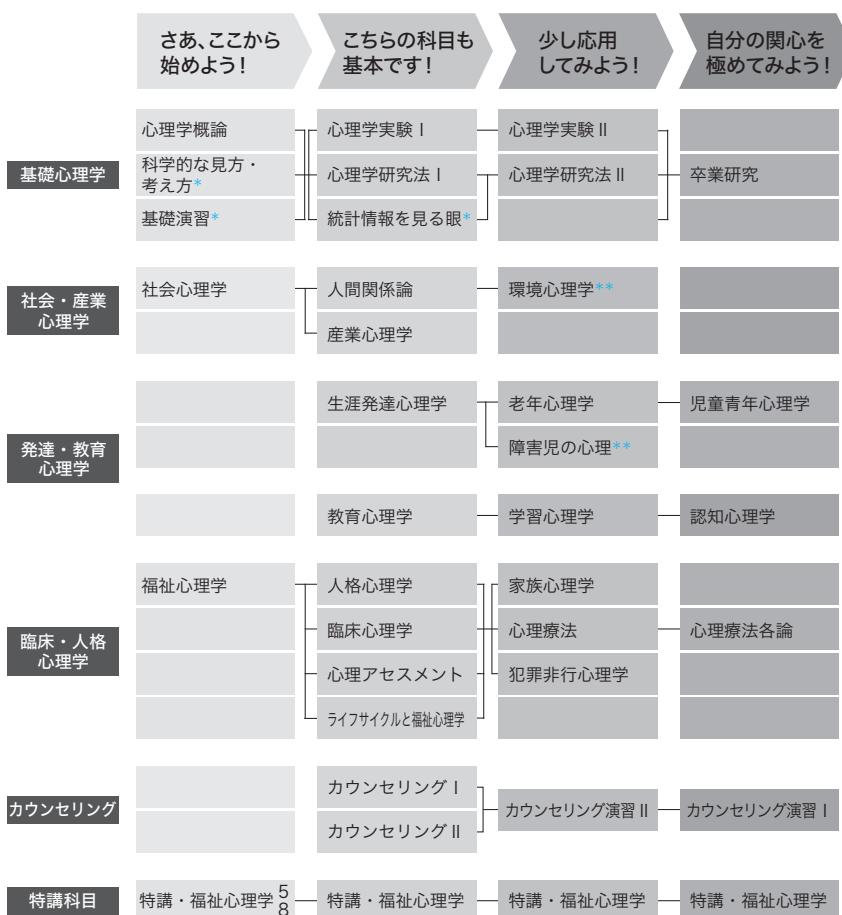
## III

## 福祉心理学科専門科目 履修系統図

履修系統図とは、推奨する学習の順序や各科目の間の関連性を示した図です。

【履修上の留意点】

- 1) 「さあ、ここから始めよう」「こちらの科目も基本です」の科目から学習を開始することをお奨めします。ただし、「実験Ⅰ・Ⅱ」「研究法Ⅰ・Ⅱ」の履修順序の指定はありません（Ⅱから履修しても可）。
- 2) \* 「科学的な見方・考え方」「基礎演習」は共通基礎科目、「統計情報を見る眼」は専門選択科目B群の科目です。その他の福祉心理学科専門選択科目B群の科目は、「IV 社会福祉学科 専門科目 履修系統図」を参考にしてください。
- 3) 「特講・福祉心理学5」(2018年度開講予定)、「特講・福祉心理学8」(2017年度開講)は「さあ、ここから始めよう」に相当する入門者にふさわしい科目です。その他の特講科目は自身の興味・関心に応じて、選択ください。
- 4) \*\* 「環境心理学」「障害児の心理」は2018年度までの開講となります。



※「共通基礎科目」「専門選択科目B群」の履修系統図はp. 53~55でご確認ください。

# IV

# 福祉心理学科 履修モデル

履修モデルとは、卒業までに各学年で履修する科目を一例としてあげたものです。

## 1 福祉心理学科 1年次入学者 履修モデル

共通基礎科目	専門必修科目	専門選択必修科目	専門選択科目A群	専門選択科目B群
1年次 (37単位)	科学的見方、考え方(4) 社会福祉学入門(1) 基礎演習(1) 他 8 単位履修	心理学概論(4) 福祉心理学(2) 社会心理学(2)	教育心理学(2) 心理アセスメント(2) 特講・福祉心理学 5(1) カウンセリング I(1)	福祉社会学(4) 児童・家庭福祉論(4) 福祉ボランティア活動(1)
2年次 (35単位)	4 単位履修	生涯発達心理学(4) 心理学実験 I(2)*	産業心理学(2) 家族心理学(2) カウンセリング II(1) 老年心理学(4) 特講・福祉心理学 8(1)	社会福祉援助技術総論(4) 高齢者福祉論(2) 介護概論(2) 障害者福祉論(4) 統計情報を見る眼(2) 認知症介護論(1)
3年次 (27単位)	臨床心理学(4) 心理学研究法 I(2)	心理学実験 II(2)*	認知心理学(4) 人格心理学(4) 人間関係論(1) カウンセリング演習 II(1) 心理学研究法 II(2)	社会福祉原論（職業指導 含む）(4) 精神保健福祉の理論(2) 特講・社会福祉学(1)
4年次 (25単位)			児童青年心理学(4) ライフサイクルと福祉心理学(1) 学習心理学(2) 心理療法(4) 犯罪非行心理学(2)	社会保障論(4) 精神医学(4) リハビリテーション論(2) 福祉経営論(2)
合計 (124単位)	18単位	18単位	4 単位	43単位
				41単位

## 2 福祉心理学科 3年次編入学者 履修モデル

共通基礎科目 (18単位一括認定)	専門必修科目	専門選択必修科目	専門選択科目A群	専門選択科目B群 (44単位一括認定)
3年次 (36単位)	福祉心理学(2) 心理学概論(4) 社会心理学(2) 生涯発達心理学(4)	心理学実験 I(2)	心理学研究法 II(2) 家族心理学(2) 産業心理学(2) 人間関係論(1) 教育心理学(2) 人格心理学(4) 心理アセスメント(2) カウンセリング I(1) カウンセリング II(1) 特講・福祉心理学(1)	リハビリテーション論(2) 統計情報を見る眼(2)
4年次 (26単位)	心理学研究法 I(2) 臨床心理学(4)	心理学実験 II(2)	児童青年心理学(4) 老年心理学(4) ライフサイクルと福祉心理学(1) 心理療法(4) 犯罪非行心理学(2) 特講・福祉心理学(1)	福祉法学(2)
合計 (124単位)	18単位	18単位	4 単位	34単位
				50単位

## 1 入学後最初の履修登録科目を決めるにあたっての留意点

入学して最初の履修登録を決めるにあたっての留意点は下記のとおりです。

- 1) 入学1年めに学習する科目を30~40単位以内で選択してください。
- 2) 「心理学概論」「福祉心理学」「社会心理学」は入学後最初の履修登録で登録してください。
- 3) 入学1年めにスクーリングを受講しようと思う科目は履修登録してください。
- 4) 10月生は、入学時は3月までにスクーリングを受講するなど学習予定の20~30単位の履修登録にとどめ、2月の追加履修登録の機会に4月以降学習する科目の履修登録をするとよいでしょう。
- 5) 履修登録の一般的な考え方・留意点については2章で、卒業要件単位数についてはp.41~45に記載があるので、お読みいただいたうえで履修登録してください。
- 6) 下記資格の取得希望者は3章の下記ページをお読みいただいたうえで履修登録してください。
  - ・認定心理士 p.140~142 福祉心理士 p.142~143 社会福祉主任用資格 p.137
- 7) 「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」は取り組みにくい科目です。「心理学研究法Ⅰ」の履修登録は1年次入学者は3年次、3年次編入学者は4年次にしてください。「心理学研究法Ⅱ」のスクーリングは3年次後半が4年次に受講するように計画してください。

### ● 1年次入学者

- ・p.72の「履修モデル」の「1年次」の欄を参考に科目を選択してください。1年めから心理学の専門科目を多く学びたい方は、「共通基礎科目」「専門選択科目B群」の科目を減らし、代わりに心理学の専門科目で配当年次が「1年以上」のものを履修登録してください。
- ・「共通基礎科目」のうち「科学的な見方・考え方」「基礎演習」は可能ならば履修登録してスクーリングを受講してください。

### ● 2年次編入学者

- ・開設授業科目一覧の配当年次が「1年以上」「2年以上」の科目からの履修登録が可能ですが、「2年以上」の科目を選ぶ場合p.71の「履修系統図」も参考にしてください。
- ・2年次編入学者に対する「履修モデル」はありませんが、下記の「2~3年次編入学者 入学後最初の履修登録科目の具体例」も参考に履修登録してください。

### ● 3年次編入学者

- ・p.72の「3年次編入学者 履修モデル」の「3年次」の欄、次ページの「2~3年次編入学者 入学後最初の履修登録科目の具体例」を参考に科目を選択してください。

## 2 3年次編入学者 入学後最初の履修登録科目の具体例

### 【3年次編入学者・入学後最初の履修登録科目の考え方】

#### ●必ず履修登録してください

- ①「心理学概論」 ②「福祉心理学」 ③「社会心理学」

#### ●できれば履修登録してください。

- ④「生涯発達心理学」 ⑤「心理アセスメント」 ⑥「心理学実験Ⅰ」（または「心理学実験Ⅱ」の両方またはいずれか） ⑦「カウンセリングⅠ」（または「カウンセリングⅡ」の両方またはいずれか） ⑧「特講・福祉心理学5」（または「特講・福祉心理学8」） ⑨「人間関係論」  
(⑥～⑨はスクーリング受講が可能な場合のみ履修登録してください)

#### ●選んで履修登録してください。

- ⑩「産業心理学」 ⑪「教育心理学」 ⑫「人格心理学」 ⑬「老年心理学」 ⑭「障害児の心理」 ⑮「臨床心理学」 ⑯「カウンセリング演習Ⅱ」 ⑰「その他の特講・福祉心理学の科目」 ⑱「心理学研究法Ⅱ」 ⑲上記④～⑨で履修しなかった科目 ⑲「その他の科目」  
などから選んで履修 (⑯～⑰はスクーリング受講が可能な場合のみ履修登録してください)

### 【仙台でのスクーリング受講予定の方】

4月生 p. 68の条件により「臨床心理学」「心理療法」は4年次での履修登録をお奨めします。  
10月生 「臨床心理学」は3年次の履修登録がお奨めです。「心理療法」は3年次でも4年次でも大丈夫です。

### 【東京でのスクーリング受講予定の方】

4月生 2017年度東京でスクーリングが開講される「福祉心理学」「臨床心理学」「カウンセリングⅠ」「社会心理学」を履修登録しておくことをお奨めします。  
10月生 「カウンセリングⅠ」「社会心理学」、および2018年度東京でスクーリングが開講される予定の「心理学実験Ⅰ」「心理学概論」を履修登録しておくことをお奨めします。

### 【札幌でのスクーリングが受講予定の方】

4月生 2017年度札幌でスクーリングが開講される「心理学実験Ⅰ」「心理学概論」「福祉心理学」を履修登録しておくことをお奨めします。

### 【専門選択科目B群の考え方】

「専門選択科目B群」から関心のある科目やスクーリングの受講が可能な科目を8単位分以内で選択してください。ただし、「専門選択必修科目」+「専門選択科目A群」の科目を36単位以上修得予定の場合は、B群の科目はその分減らすことができます。社会福祉主事任用資格取得を希望する方はp. 137の指定科目一覧を参照してください。

## VI

## 福祉心理学科 入学1年めの学習計画例

・ここにあげた学習計画例はあくまで一例です。3年次編入学者を主たる対象として作成していますが、1年次入学者も入学1年めから心理学の専門科目を多く履修する場合は参考にしてください。

●4月生が、すべての履修科目について仙台でのスクーリングを受講する場合の計画例

※①～④はレポート課題の1単位め～4単位めを示します。

※会場スクーリングを受講できない科目は、1) オンデマンド・スクーリングを受講するか、2) レポート提出後科目修了試験受験で単位修得をめざしてください。ただし、会場受講と記載のある科目は、1) 2) の方法では単位を修得できません。

科 目 名	修得単位数		スクーリング 受講日	レポート提出日		備 考
	科目 単位	S単位		別レポート (web) ※提出期限あり	通常レポート ※各自で期日設定	
福祉心理学	2	1	5/20・21	②6/5	①7/15	
カウンセリングⅠ	1	1	6/10・11 会場受講	—	—	
社会心理学	2	1	7/1・2	②7/17	①8/15	
心理学実験Ⅰ	2	1	8/18～21 会場受講	—	①12/24	
障害児の心理	4	2	9/16～18	①④10/2	②③10/15	
老年心理学	4	2	9/29～10/1	③④10/16	①②11/15	
特講・福祉心理学8 (ストレスとつきあう心理学)	1	1	10/14・15 会場受講	—	—	
カウンセリングⅡ	1	1	10/28・29 会場受講	—	—	
生涯発達心理学	4	2	11/3～5	②④11/20	①③12/15	
産業心理学	2	1	11/11・12 会場受講	①11/27	—	
家族心理学	2	1	12/9・10	②12/25	①1/15	
心理学研究法Ⅱ	2	1	12/16・17 会場受講	—	①12/26 ②1/30	
心理アセスメント	2	1	12/23・24	②1/8	①1/30	
心理学概論	4	2	1/6～8	③④1/22	①②2/28	
リハビリテーション論	2	1	1/20・21	①2/5	②3/15	
人間関係論	1	1	2/17・18		—	
合 計	36	20				

●10月生の場合は、上表記載の10/14以降のスクーリング（ただし「心理学研究法Ⅱ」を除く）を受講し、翌年4月以降の学習計画は1～3月に発表される翌年度のスクーリング開講予定を見てから、決めてください。

● 4月生が、履修科目をオンデマンド・スクーリングで受講し、「心理学実験Ⅰ」を会場スクーリングで受講する計画例

※①～④はレポート課題の1単位め～4単位めを示します。

科 目 名	修得単位数		オンデマンド スクーリング 受講期間 (一部会場受講)	レポート提出日		科目修了試験 受験日
	科目 単位	S単位		別レポート (web) ※提出期限あり	通常レポート ※各自で期日設定	
福祉心理学	2	1	4/27～5/26	②6/5	①7/15	
心理学概論	4	2	6/8～7/14	③④7/24	①②8/31	
生涯発達心理学 (注)	4	2	6/22～7/21	②④7/31	①③9/15	
社会心理学	2	1	7/20～8/25	②9/4	①10/15	
家族心理学	2		—	—	①②8/16	9/3
心理学実験Ⅰ	2	1	8/18～21 会場受講		①12/24 (期限あり)	
心理アセスメント	2	1	10/12～11/3	②11/13	①12/15	
人間関係論	1	1	10/12～11/10	—	—	
人格心理学	4	2	11/9～12/8	①②12/18	③④1/31	
特講・福祉心理学4 (スクール・カウンセリング)	1	1	11/23～1/5	—	—	
老年心理学	4	2	12/7～1/5	③④1/15	①②2/28	
ライフサイクルと福祉心理学	1	1	12/7～1/12	—	—	
統計情報を見る眼	2	1	12/21～1/19	—	①②3/15	
教育心理学	2		—	—	①②2/7	2/25
合 計	33	16				

(注) 2016年度までの担当教員・教科書によるもの

※オンデマンド・スクーリングでは、受講期間の最終日までに、スクーリング試験を提出する必要があります。  
※科目修了試験を受験するには、受験する科目のレポート課題すべてを試験申込締切日まで提出する必要があります。

※別レポート (スクーリング受講者が解答可) 提出方法：オンデマンド・スクーリング受講の場合は原則としてweb提出が必須 (一部科目は郵送のみ)、通常レポートと異なり提出期限が設定されています。

●10月生の場合は、下記1) 2) のように受講することを推奨します。

- 1) 「心理学概論」は10/26～11/24の間に、「福祉心理学」は11/23～12/22の間にオンデマンド・スクーリングを受講する。
- 2) 上表記載の10月以降の科目のうち、「心理アセスメント」「人格心理学」は翌年4月以降に受講する。

残りの科目は4年生で履修します。なお、2年で卒業する場合に「卒業研究」(卒業論文の執筆)の履修は難しくなります (p. 68参照)。